

## 中高生タイムの充実

### 取組の背景・目的

- 中高生が児童館で充実した時間を過ごし、やりたいことが実現できる自己実現の場。
- 行事を通し学年や学校に関わらずたくさんの人と交流し、様々な経験を通し、人と関わることや色々なことに興味を持つ。



### 取組の概要

季節を感じられる行事として、夏は、水遊び(水風船)や夕涼み会でかき氷作りやすいか割り、花火を行った。秋は児童館の花壇で作り収穫したサツマイモを窯で焼き芋にしたり、ピザを生地から作り、好きな具材をのせて、ピザ窯でオリジナルのピザ作りを楽しんだ。また流行を取り入れたレジンなどの工作や工具を使用したスマホスタンドなどの木端工作、『なぜ?』を解き明かす化学実験なども行った。



## 工夫点・留意点

- ・児童館に興味を持ってもらえるように新しい企画をし来館のきっかけにする。
- ・児童館で苗から植え、育つ過程を見て、収穫したサツマイモをピザ窯に入れ、焼き芋を作り、味わうことの達成感を得られるなど、つながりを工夫した。
- ・来館目的の遊びや過ごし方も保障されつつ、楽しく行事に参加できるような環境を作る。

## 取組の効果

- ・普段バスケットやテレビゲーム目的で来館している子どもも行事に参加することで経験値をあげることに繋がる。
- ・今まで興味のなかったことに興味を持ったり、それぞれの強みを知ったりできる。
- ・例えばピザを生地から作り、自分好みにし、ピザ窯で焼き、焼きたてを食べることで達成感を感じることができる。
- ・一人で来館した子どもも楽しい時間を共有することで次第に打ち解け、仲間作りにつながる。
- ・興味がないことも意外にやってみたら楽しかったという経験が次回も参加しようという気持ちになり次につながる。
- ・協力すること、人のためになることが自分を必要とされていると感じられ、自己肯定感が高まり自信につながる。

## 課題・今後の展開

### ◎中高生タイム

- ・子どもの「やりたい」を形にできるように、企画書やプレゼンなどで進めていく。
- ・年間を通して、つながりのある活動を行い、みんなでひとつのものを作り上げていく。
- ・毎日行っている中高生向け工作の充実と達成感を目指していく。
- ・理科実験や調理実習など生活の上で必要な知識や技量の提供をしていく。
- ・グループ活動の応援の場とし活用してもらう。

### \*実施場所 館全体

\*遊びの内容によって館内や館外(館庭やバスケットコート)を使用

- \*実施頻度 ・定期的(月に1回)に開催する行事、中高生の希望を聞き随時行事を行っている。
- ・毎日行っているDIY工作やその他理科実験や調理実習を行う。

\*職員体制 遅番の職員を通常3名より1~2名増(常勤・会計年度任用職員)

### \*直営事業

\*その他 児童館運営協議会の委員に関わっていただいている。

子どもたち一人ひとりと日々の関わりを大切にして計画を進めている。